

< 研究発表 2 >

豊かな心の育成を目指した修学旅行の取組 ～広島修学旅行の実践をとおして～

熊谷市公立中学校連合修学旅行実施委員会
委員長 熊谷市立吉岡中学校長 西木 優道
熊谷市立中条中学校長 島崎 一雄

はじめに(熊谷市ホームページより)

埼玉県熊谷市は、東京都心から50～70km圏に位置し、ほぼ平坦で荒川や利根川の水に恵まれた肥沃な大地と豊かな自然環境を有し、その区域は南北に約20km、東西に約14kmで、面積は159,88km²です。

人口は、平成17年の国勢調査によると、204,675人となり、埼玉県で9番目、県北では最大の人口を有します。

江戸時代には、熊谷宿は中山道の宿場として、また、明治初期には熊谷県の県庁所在地となり栄えていきます。大正から昭和にかけて、熊谷市は、関東大震災や先の大戦での空襲といった惨禍を克服して、以前にもまして復興を遂げ、発展しています。



1 熊谷市公立中学校連合修学旅行実施委員会の取組

熊谷市内には中学校は16校あり、中学3年生の生徒数が、300名を超える大規模校から、生徒数30名前後という小規模校まで様々である。

熊谷市の修学旅行は、関東地区公立中学校修学旅行委員会と提携し、熊谷市連合体として実施をされている。中学校長会の取組としては、校長会中学校部会より選出された実施委員長を中心に「熊谷市公立中学校連合修学旅行実施委員会」を立ち上げ、綿密な計画に沿って実施をされている。

実施方法は、中学校16校を6班～7班に分け、Bコース(6/2日頃～6/15日頃)、2泊3日の日程で関西方面(主に京都・奈良)への修学旅行を実施している。往復の交通手段は、熊谷(籠原)・上野間の高崎線では臨時列車、東京、京都・新大阪間は修学旅行団体専用列車である。京都(新大阪)から奈良方面への交通手段は、各校に依じての移動方法(公共交通機関・貸切バス・タクシー等)で行っている。また、現地における取組は様々で、京都における体験学習の実施や、班別学習や学級別の見学等工夫を凝らし、旅行・集団宿泊的行事の目的に基づいて取り組んでいる。

熊谷市連合体として実施される修学旅行は、小規模校にとっては輸送方法、費用面等において大きな恩恵を受けている。

以下は、5回の「修学旅行実施委員会」の協議内容及び実施時期である。

熊谷市公立中学校連合修学旅行実施委員会（協議内容等）	
第1回	正副委員長、業者打ち合わせ会（9月） 参加者：正副委員長・業者打合せ 協議事項：契約内容の確認、実施委員会開催計画について等
第2回	第1回実施委員会（10月） 参加者：校長会長・市教委・正副委員長・各校実施委員・業者 協議事項：実施委員会組織、班編制、前年度の反省 各校で取り組むべき内容等
第3回	現地調査・検討会（12月）
第4回	第2回実施委員会（4月） 参加者：各校校長・市教委・養護教諭実施委員・業者 協議事項：実施細部の確認、各校の取組状況、救護について等
第5回	正副委員長、業者反省会（8月） 参加者：校長会長・正副委員長・業者 協議事項：今年度の反省、来年度に向けての立案検討等

2 中条中学校の取組

（1）本校の実態

中条地区は、熊谷市中心部から北東にやや離れた人口4,868名、世帯数1,813世帯の農村部である。

中条中学校の生徒数は1年生35名、2年生40名、3年生33名、合計108名（H24.5.1現在）であり、市内中学校の中で最も小規模校である。今後も生徒数の増加は見込めず、1学年ほぼ33名前後で生徒数の推移は続いていく。

全校生徒が小学校から9年間継続した人間関係にあり、男女の仲も良く互いに助け合うことができる。反面、生徒の転出入もほとんど無い状況で、閉塞的な人間関係の中で生活しているため社会性や公共心にやや欠ける面が見受けられる。小集団での生活が多くなる傾向なので、体験学習や学校行事でもなるべく一般社会や他者（他地域）との交流を多く取り入れる工夫をしている。そこで、今年度は、小学校・中学校・地域との合同運動会の開催や、近隣中学校と合同での合唱コンクールを実施した。

本校は、旅行・宿泊的行事を3年間で3回体験する。1、2年生で林間学校、3年生は修学旅行である。1・2年生は、合同で群馬県「国立赤城青少年交流の家」へP・Aの活動を中心とする1泊2日の林間学校を実施をしている。

また、キャリア教育の一環として職場体験事業を、1年生を対象に夏季休業中に5日間実施をしている。

(2) 奈良・京都ルートから広島・京都ルートへの変更理由

平成24年度から奈良・京都ルートから広島・京都ルートへ修学旅行コースを変更した。

広島は長崎と並び太平洋戦争の戦禍を被り、世界でも例を見ない被爆地である。この過去の痛ましい事実を風化させてはならない。しかしながら、戦後60数年を経過し戦争体験世代も総人口の16,5%（2010年時点）となり、今の生徒たちにとっては祖父母から戦争体験談を聞けるという状況は難しくなっている。

学校教育においても、教科、領域のみならず常日頃から日本の平和と共に国際平和の実現に向けた意識の向上及び実践力の育成に努めている。それぞれの教科・領域で工夫を凝らし、DVD・写真等の教材を活用し平和教育を実践しているが、やはり、実物を直接見られる体験学習から得られる効果には及ばない。広島平和記念資料館における見学・体験は、戦争の悲惨さを肌で感じ取れると共に、今後の日本そして世界の平和の在り方についての指針を与えてくれるはずである。

被爆地としての広島を体験学習することは、戦争の悲惨さを知ると共に生命を尊重する学習そして人権教育でもある。戦争という非人道的な戦闘は、何の罪もない多くの命を奪い取った。原爆により広島に於いて、一瞬にして奪い取られた命の尊さや、家族の嘆きそして、60数年経った今なお被爆による後遺症との闘いに苦しむ人々の現実をしっかりと把握させる。また、憎しみ合いがもたらす闘いの恐ろしさに気づかせることは、自他の人権尊重と思いやりの心を育成することにつながるはずである。さらには、様々な差別も戦争と同様の傷を負わせることを理解させていきたい。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原発事故の影響は、今もその傷跡は深く長期的展望に立った対応策が迫られている。今後も放射性物質についての正しい知識と正しい対応策を身に付け、立ち向かわなければならない現実がある。広島平和記念資料館の見学は、悲惨な戦争がもたらした原爆被害を知ると共に今後の平和の在り方やエネルギー問題等を適切に解決していく一助になると思われる。

以上のことから、過去の傷の教訓を生かしつつ現在の傷を癒すに必要な薬の一つとなると思われる広島、そして日本の代表的な歴史的文化的遺産を学習する京都を巡る修学旅行コースを設定した。

(3) 事前指導及び事後指導等について

ア、事前指導

2年生の歴史的分野では、「古代から近代の日本」における京都の歴史を学習し、3年生の歴史的分野において第2次世界大戦における広島を学習した。今年、広島を修学旅行コースに取り入れたこともあり、埼玉県平和資料館の出前授業「ピースキャラバン(資料館がやってくる)」を実施した。

また、総合的な学習の時間や理科の時間において、放射線について知識の習得や京都における名所旧跡等の歴史的由来について調査を実施した。

<出前授業の様子>



イ、事後指導

3年理科分野の「エネルギー(1分野)」で放射線について再度確認した。

また、国語分野及び総合的な学習の時間では、「修学旅行記」として修学旅行を振り返りながら平和学習及び歴史学習のまとめとした。

さらに、3年公民的分野の「私たちの政治」の項目において改めて平和の尊さと平和を愛する心情をより深めた。








ウ、自主研修(見学方法)等について

33名という生徒数は、旅行中の移動方法で大型バスを使用せずすむ人数である。自主研修・見学地への移動方法は、今まで活用してきたジャンボタクシーや貸切バスから公共交通機関を利用した移動方法に戻した。これは、地域や生徒の実態を踏まえ、公共交通機関を利用することで様々な人々との触れ合いを通し、道徳的实践力及び公共心を養う絶好の機会であると捉えたからでもある。

自主研修・見学時は5名～6名の男女混合で構成する班別行動を主体とした。男女の仲が良く協力して進めていくのに適度な人数である。

(4) 旅行行程等

旅行先	広島・京都方面
期 日	平成24年6月3日(日)～6月5日(火) 2泊3日
1日目	<p>熊谷発→(臨時列車)→上野着→東京発→(団体専用列車)→京都着 7:56 8:59 10:23 12:41</p>  <p>京都発→(のぞみ25)→広島駅着(路面電車)→広島原爆ドーム前着→ 12:52 14:38 15:20</p> <p>広島平和記念公園『班別行動(か`仆`2名)』 広島原爆ドーム前発→ 15:30 17:30</p>

	 <p>広島駅着→夕食会場→(広島駅前自由行動)→徒歩→広島宿舎着</p> <p>18:00 19:00 20:00</p>   <p>広島宿舎 「広島ホテルセンチュリー21」</p>
2日目	<p>宿舎発→広島駅発→(のぞみ10)→京都着→解散『班別自主研修』開始→</p> <p>8:00 8:37 10:14 10:30</p>    <p>→宿舎集合(太秦)</p> <p>18:00</p>  <p>京都宿舎「菊香荘」</p>
3日目	<p>宿舎発→JR太秦駅発→(JR山陰本線)→JR嵯峨嵐山駅着→</p> <p>8:10 8:35 8:43</p> <p>『班別自主研修』開始→JR嵯峨嵐山駅集合 発 → 京都駅着</p> <p>8:50 12:15 12:46 13:03</p>    <p>京都発→(団体専用列車)→東京着→上野発→(臨時列車)→熊谷着</p> <p>13:35 15:56 16:53 18:00</p>

費 用	・ 交通費	26,750円（新幹線・JR山陰本線・路面電車等）
	・ 宿泊費等	28,086円
	・ 写真代	800円
	* 広島平和資料館の入館料は、事前に団体申し込みを行うため無料。	
	・ 合 計	55,636円（H23年度決算額 60,207円）

（5）その他

広島平和公園及び平和資料館を案内して下さった石原さんからの手紙

拝啓

このたびは修学旅行という大きな行事を無事終了されましたことに何よりとお慶び申し上げます。

原爆被爆地、広島を旅行地を選んでいただきました上に、貴重な時間を平和学習に当ててくださいましたこと大変ありがたく心よりお礼を申します。体験談や



平和公園内の慰霊碑めぐりを通して生徒の皆様には戦争の悲惨さ、平和、生命の尊さを語りたい。そして一緒に考えたいと思っておりますのに、十分に伝えることができなくて申し訳ない気持ちでいっぱい、疲れている時間にもかかわらず静かに真剣に聞いてくださった生徒さんのやさしさに感謝しております。被爆者は病気や高齢化で語る人が少なくなりつつありますが、一人でも多くの若者に伝える活動をライフワークにしたいと強く思うこの頃です。生徒さんは学校生活に戻られ元気に頑張っていることでしょう。健康で楽しい思い出を共有する日々でありますように祈っています。先生方におかれましてはお身体にご留意くださいますように。

末筆になりましたが、当時は謝礼をたまわりましてありがとうございました。8月6日に行います「平和記念式典」参拝者用の休憩所としてテント三張、椅子200脚のリース設営、冷茶、おしぼり、献花用のお花代等有意義に使わせていただき、学校や生徒さんのお小遣いを無駄にしないことをお約束してお礼に代えさせていただきます。

暑い日の午後にもかかわらず、生徒のみなさんの目で聞く姿はとてもさわやかに感じられました。熊谷市は高校生が来広されますので、3年後のみなさんにまたお会いできるかな・・・と楽しみです。

敬具

広島被爆者援護会 石原 智子

生徒お礼の手紙より

拝啓 石原様

この度は、お忙しい中私たちのために原爆ドーム・平和公園・資料館を案内してくださりありがとうございました。暑い中わかりやすくていねいに教えてくれ、とても当時の様子が伝わってきました。

(中略)

石原さんのお話では自分たちが調べたこと以外にたくさん知ることがありました。韓国人のお墓があることや、いまだに名前がわからない、家族が見つからない人のお墓があること。爆風で飛んだ石のことなど、広島に行かなければわからなかったことをたくさん教えていただきました。

このことを後世に伝えていけるよう、またみんなと協力してこの先2度とあのようなことが起きないようにしたいです。

本当にありがとうございました。

敬具

3年2組 栗原 彩乃



石原さんへ

先日はお世話になりました。

私ははじめて広島に行きました。平和学習ということで戦争の当時の話や戦争が終わってからの話を詳しくわかりやすく話してくださってありがとうございました。

(中略)

石原さんの話の中で午前8時15分にスピーカーから音が流れるということを知り、今でも戦争からつながっているんだなと思いました。

大人になっても、広島に行き、平和学習・原爆・戦争のことを学んだということを忘れないようにしたいです。そして、自分の子どもができたなら話せるようにしたいです。

これからも、お身体に気をつけて「最後の被爆者」という夢を叶えられるように頑張ってください。私も受験頑張ります。

3年1組 湯澤 瑞希





拝啓

この度は、暑い中私たちのガイドをしていただきありがとうございました。私たちは、石原さんのガイドにより少しは原爆についてわかったと思います。

石原さんはこれまでに胎内被曝で苦しんで来たと思います。でも今は元気に色々なことを話してくださってありがとうございます。

(中略)

毎年8月6日にある記念日を1回だけ見たことがありました。その時には、500人以上の人が黙祷をしているのを見ました。今年は集中してみたいと思います。今年石原さんに教えてもらったことを家族や友だちに教え、色々な人に戦争や原爆のことを受け継いで、一生日本は戦争をしないようにしていきたいと思います。石原さんありがとうございました。

敬具

3年2組 鯨井 悠人

拝啓 石原智子さんへ

お元気ですか？

(中略)

私は、小学校の時から「戦争」というものに興味があり、原爆のことや沖縄の陸上戦、特攻隊や硫黄島での戦いなどたくさんの映画や資料を見てきました。

今回、修学旅行という形で「広島」に来られたことを嬉しく思います。私は何よりも「原爆ドーム」を見たくて来ました。石原さんがお話をしてくださっている途中にも原爆の悲惨さがわかりました。何より、原爆ドームを間近に見ることができたこと。本当に言葉を失うものでした。でもそれは、「かわいそう」「大変だった」とかそういう気持ちだけではなく、当時の日本が考えていたこと、アメリカとどうして戦わなければいけなかったのか、どうして広島じゃないといけなかったのかとそういう気持ちでいっぱいでした。

広島の元々の土地の高さ、飛ばされた墓石。埋め立てて、埋め立てて今の広島の高さになったと、そうしなければ今の広島は無いと私は思いました。

(後略)



3年1組 栗原 榛花

石原さんへ

石原さん、お久しぶりでございます。この度は、僕たちの修学旅行での原爆ドームの説明ありがとうございます。僕は、今回の修学旅行で石原さんからたくさんのお話を学びました。1つ目は、原子爆弾の怖さについてです。原子爆弾の恐ろしさは、熱風や爆風もそうですが、放射能が一番怖いという事がわかりました。放射能のせいでその時受けた人だけでなく、その後の人たちまでも原子爆弾の恐怖から逃れられないという事がわかりました。

(中略)



僕は、石原さんの言葉を聞き、「もの」を見ました。僕はあのことを後の世代にも伝え、ずっと忘れないようにしたいです。ありがとうございました。

3年1組 永松 丙大

3 今回の修学旅行における成果と課題

(1) 成果

ア、全体的に

- ・歴史学習と平和学習の両方を学習でき有意義であった。歴史学習での京都、平和教育における広島というように目的が明確に分かれていたため生徒の興味も薄らぐことなく終了できた。
- ・事前学習等が徹底していたため、取組姿勢は良好であった。これは、出前講座「ピースキャラバン」の活用及びVTR(きみはヒロシマを見たか)による指導の徹底が効果を上げた一因と思われる。
- ・新幹線・路面電車・市バス(京都市内)を利用した自主研修等、一般客と同席する場面が増えたことで、場をわきまえた行動をとれたり、路面電車内では席を譲る場面を見かけた。公共心も少し高まったと思われる。
- ・少人数のため移動もスムーズにできたので時間を有効に使えた。上野駅での時間調整は非常に良かった。東京駅での待機では待機場所と待機時間の調整で苦労した経験がある。

また、帰路においてはJR山陰本線の連絡通路で時間調整ができ、直接新幹線ホームに上がったため京都駅コンコースでの待ち時間もなく、生徒の気持ちの緩みもなかった。

- ・広島では、自主研修→夕食→自由時間→入室と時間にゆとりがあった。
- ・京都における自主研修は、京都駅解散で旅館の位置を地図のみで知らせただけであったが、思いの外迷わずに行動できた。
- ・公共交通機関のみ利用したコース設定であるため、出費を抑えることができた。

- ・担当旅行業者(近畿日本ツーリスト)と綿密な打ち合わせができ、業者も積極的にコースを開拓してくれたので有意義に過ごすことができた。

イ、宿泊地・宿泊施設等

- ・広島では、夕食を外食(広島お好み物語)にしたので、部屋食とはまた違った雰囲気味わえた。
- ・広島のホテルは駅に近く、移動にも好都合であった。
- ・京都では、JR山陰本線を利用できる位置(太秦)に旅館があったため、最終日(3日目)、嵐山散策もゆったりと時間を使えた。
- ・ホテルのと旅館という宿泊スタイルの異なった体験も良かった。

ウ、見学・自主研修等

- ・ほぼ予定時刻通りの行程であった。
- ・平和公園内のガイドさん(胎内被爆者)による案内は、広島の苦悩等の生の声を聞くことができ大変効果的であった。

(2) 課題

ア、全体的に、

- ・修学旅行初日(現在は、2日目に広島までの臨時列車は運行されている)に東京・広島間の臨時列車が運行されれば、宮島方面も見学可能になるなど、より広島のバリエーションは増える。
- ・昼食時の弁当にかかる費用が高すぎる。改善策は無いものか。

イ、宿泊地・宿泊施設等

- ・公共交通機関利用重視のスタイルでは、京都の宿泊場所(位置)によっては、最終日に実施する自主研修のルートも制限を受ける。嵐山、二条、高台寺、または京都駅付近での宿泊が可能ならば、3日目の自主研修にも利用しやすく、時間を有効に使える。

ウ、見学・自主研修等

- ・京都市内の自主研修では、昼食時間は余裕を持って計画する必要がある。
- ・平和資料館の見学時間は、1時間30分から2時間程度は欲しい。(今年度は、1時間程度であった)
- ・平和資料館内自主研修時に使用するワークシートは、平和資料館から無料で提供されたもの(平和学習ワークブック)ではなく、生徒の実態に合わせ簡単に記入しやすいよう工夫した自作のシートを準備した方がよい。
- ・平和資料館内の自主研修はガイド付き見学か、生徒だけの自主見学のどちらの方が効果的なのかは意見が分かれる所である。(計画当初は、資料館内は班別の自主研修でガイドはつかない予定であったが、同行してくれた。)
- ・平和公園内のガイド利用については、天候に左右される心配がある。